



亜熱帯 美ツクリ レンズ



やんばるに暮らす
生き物たちの素顔
写真と文 久高将和

久高 将和(くだかまさかず)プロフィール

1951年沖縄県東村生まれ 国頭村在住 写真家・環境カウンセラー
やんばるの自然や生活文化を地元ならではの視点で撮影し紹介する傍ら、「やんばる国頭塾」を主宰し、やんばるの地に育まれた生活文化に学ぶツーリズムの確立を目指し精力的に活動している。写真集「やんばるの森」東洋館出版などがある。

オリオオコウモリ Pteropus dasymalus inopinatus KURODA (オオコウモリ科)

姿に似合わずおしゃれなものを食する大型のコウモリ。黄昏の訪れと共に沖縄本島の空に飛び立ち、フクギやガジュマルなどの実を求め都心の緑地帯にも飛来するが、木の実がない時期には満開のデイゴなどの花の蜜を求め、夜空を飛び交うのも彼らの日常の生活である。

コウモリは音波で物の所在を確認し飛ぶということが一般的に知られているが、オオコウモリの仲間は大きな目と嗅覚で食べ物の所在を確認し活動している。